

去勢避妊を受けさせない飼い主さんについての情報をお待ちしております。

無記名でも構いませんので、郵送で確かな情報を。飼い主さんの住所・氏名（姓のみでも可）を当方までお知らせください。法的・道義的観点から（裏面参照）指導させていただきます。給餌給水を怠っている飼い主さんについてもお知らせください。

★当方は定期的にパトロールをさせて頂いております★

どうしても飼えなくなった場合には

人間の生活を維持することすら困難な時代となりました。どうしても飼えなくなり、新しい飼い主がみつからない場合には、保健所へ持ち込まずに動物病院で、飼い主さんが動物に寄り添って安楽死してもらいましょう。（薬によっては苦痛死となりますので、必ず獣医師に確かめてください。）

新しい飼い主を見つけるばかりが解決だとは思いません。悪い人へ飼わせるくらいなら安楽死という選択をしたほうが、よほど、動物の為になると思います。

それは、人間が動物を虐めるのはたやすくても、動物は脱出することも、自活もできないからです。動物は自分でエサを買いに行くことも、病院へ通うこともできません。飼い主に運命の全てを左右されるのです。悪い人へ動物を飼わせるくらいなら、安楽死という選択をしたほうが正しい選択だと思います。（行政の処分方法は殆どの自治体が苦痛死です。行政は安楽死だと広報していますが嘘です）

動物福祉とは安易に新しい飼い主を見つけることではないと思います。健康体であっても、悪い人が飼うと動物は病気になり、精神面でも不幸になります。安楽死の必要性については、動物が健康体か病気かという問題ではないと思います。良い飼い主が見つかるかどうかの問題であり、《動物人口》と《正しく飼える世帯数》の比率の問題ではありませんか。1対1ならば安楽死の必要性はありませんが、動物人口過剰で、正しく飼える世帯数は僅かなのですから、理性的な愛情で考えてみませんか。

行政の処分方法は苦痛死

行政がどのような広報をしようとも、実態は殆どの自治体が苦痛死なのです。福島県も二酸化炭素による苦痛死です。詳しくは当方サイト（二本松アニマルポリス）のリポートをご覧ください。

※下関市は、市長のご英断で21年度から安楽死へと替えました。他県も苦痛死から安楽死へ替えてもらうには、県民が県議会へ請願書を提出したり、県知事へ意見する必要があります。黙っていても改善されるはずがないのです。言論の自由が保障されているこの国で、国民が自ら言論封殺をしてしまうと、社会は良い方向へは向きません。

●違法性がなければ 裁かれなければならない って、悪いことを平 気で行う人がいる。 そういう輩は神に見 透かさされ、顔にバチ があたる。顔にバチ があたると第一印象 が悪い為、お見合い や就職に不利。友達 ができない。モテな い。既婚者は子供や 配偶者から一緒に外 出することを避けれ れ、離婚。入院して も、お見舞いに来る 人がいないので、人 体実験されやすく苦 しむ ●顔にバチが あたるタイプは、冤 罪を作る刑事・生活 保護を受けているの に文句ばかりを言う 人・私利私欲だけの 人・言い訳ばかりの 人・弱い者いじめ 動物虐待をする人。

裏 →→→